

あこうかせい

赤穂化成(株)

赤穂市坂越329番地 ☎0791-48-1111



公式サイト

赤穂化成は、江戸時代から続く製塩技術を継承し、総合ミネラルメーカーとして食塩から健康食品、食品添加物、医薬品原料、工業用原料に至るまで多彩な商品を生産している。

👑令和元年度 ひょうごオンリーワン企業

総合ミネラルメーカーとして発展



2021年度の入社式

江戸時代より塩田による日本の塩づくりを先導してきた赤穂地域。1971年には塩田による製塩は廃止されましたが、赤穂東浜塩田の流れをくむ赤穂化成は、自然塩運動に応える形で「赤穂の天塩(あましお)」を商品化。以降、高知県室戸沖で採取した「海洋深層水」

が、血液サラサラ飲料として注目され、大ヒット。その後もおいしく塩分補給できる「熱中対策水」など社会に役立つ商品を開発してきました。

また、ミネラルの技術を生かした医薬品原料のほか、食品添加物や特殊黒色顔料、豆腐の凝固剤等をラインアップ。「様々な分野の

商品があるため、不況に強いというのが特長。思わぬ所で自分たちの商品が使われていたり、お客様に“ありがとう”という言葉をかけていただけたりと、社会に役立っている実感がやりがいにつながります。」と専務取締役の池上幸志さん。

チャレンジでき、風通しの良い社風

熱中対策水や特殊黒色顔料をはじめ同社のヒット商品の多くは社員からの発案で生まれたもの。誰もがアイデアを出し、それを尊重する風土が社内に根付き、希望者は誰でも参加できる英語研修が週2回行われるなど、挑戦を促す場も用意されています。

新入社員歓迎ボウリング大会や秋のスポーツ大会、10年ごとの節目に行われる海外旅行などの行事も多く、風通しの良い社風が築かれています。池上さんは「先入観にとらわ

れない発想で新しいことにチャレンジしてほしい」と呼び掛けています。



汗に近い成分を補給できる熱中対策水

企業データ

■設立(創業)/1971年
■資本金/3,000万円

■売上高/100億円以上(2021年3月期)
AKOグループ連結
■従業員数/201名

■平均年齢/43.0歳



淡路麺業は、2007年以降、それまでのうどん製造から生パスタ製造へと業態を切り替えた。全国3000軒の飲食店に生パスタを販売し、家庭用市場にも切り込もうとしている。

👑成長期待企業
👑兵庫県立地支援企業

五つ星ホテルや有名レストランでも使用される生パスタ



定番商品から季節限定商品など40種類以上の生パスタを製造

うどん専門メーカーとして100年近く歴史を刻んできた同社が、うどん事業の厳しい先行きを見越し、生パスタ事業に大きくかじを切ったのは2007年のこと。うどんに代わる事業を模索する中でたどりついたのが生パスタでした。「うどんやそば、ラーメンは生麺

が主流なのになぜパスタは乾麺が主流なのか？という疑問を抱き100年以上の麺づくりのノウハウを活かせば本当においしい生パスタを提供できるのではと考えた」と5代目社長の出雲文人さんは振り返ります。

試作を500回以上繰り返して完成した生パスタは、小麦本来の風味が豊かでしっかりとしたコシと弾力が特徴。

また、生パスタを販売するだけでなくラボと呼ばれる社内のキッチンスタジオで調理講習会を実施したりそれぞれの生パスタに合ったレシピを提供したりと繁盛サポートも充実しています。そうした取り組みが評価され今や販売先は全国に3,000軒にのぼり、大手ファミリーレストランや星付きホテルなどでも使用されています。

生パスタをご家庭でも手軽に美味しく

近年はプロ向けの生パスタにとどまらず、ご家庭でも調理しやすい一般消費者向けのパスタやソースなどの開発にも注力しています。「日本のパスタ市場はまだ未成熟なので生パスタの可能性はこれから」と出雲さん。「淡路島から日本のパスタ文化に革命を起こす」と意気込んでいます。



レストランだけでなく
ご家庭でもおいしい生パスタを

企業データ

■設立(創業)/1968年
(創業1909年)
■資本金/1,500万円

■売上高/6億8,000万円(2021年3月期)
■従業員数/68名

■平均年齢/37.8歳

おーくらゆそうき

オークラ輸送機(株)

加古川市野口町古大内900 ☎079-426-1181



公式サイト

ネット通販で今日注文した品物がその日には届く。こうした迅速で正確なものの流れを支えているのが物流倉庫や製品工場で使われるコンベヤや仕分け装置などオークラ輸送機の製品群だ。

迅速で正確なモノの流れを支える



乳業メーカーで活躍するオークラのロボット

1955年に日本初の量産型コンベヤを開発したのを皮切りに、パレット（荷物を載せる

台）へ荷物を積む装置、行き先別に荷物を仕分ける装置などを業界に先駆けて開発し、工場や倉庫内の荷役作業の自動化に貢献してきました。工場や倉庫には、こうしたさまざまな物流専用機械が組み合わされて荷物を迅速かつ正確に出し入れしています。「長年の蓄積を生かし、ユーザーの目的に合わせて最適な物流システムを提案できるエンジニアリング力が最大の強み」。同社の機器、システムは大手通販会社、食品メーカーなどで採用されており、私たちの生活を見えないところで支えています。

風通しの良い風土を大切に

2021年4月に新しい本社ビルが完成しました。オフィスフロアはゆったりと席が配置され、部署間の仕切りがないオープンなつくりになっています。集中・対話・リラックスなど働き方に応じたスペースが社員同士の良好なコミュニケーションを促しています。同時に服装も自由化し、社内には明るい雰囲気があります。「こうした風通しの良い風土によりお互いが当たり前のように声かけをすることでケガや事故のない現場、そして柔軟で新たなアイデアを創出する風土の醸成につながっている」。創業100周年を目前にさらに進化を遂げようとしています。



曲線で流れを表現したデザインの本社ビル

企業データ

■設立（創業）／創業1927年
■資本金／13億3,056万円

■売上高／350億7,600万円（2021年3月期）
■従業員数／601名

■平均年齢／42.3歳



ドライフラワー、プリザーブドフラワーを総合的に扱うメーカーとしては世界ナンバーワンの大地農園。花や緑をきれいなまま長持ちさせる技術でさらなる飛躍を目指している。

🏆令和2年度 ひょうごオンリーワン企業
🏆平成27年度 兵庫県環境にやさしい事業者賞

花を加工しあらゆる場に生かす



お客様に感動を与えるプリザーブドフラワー

乾燥させて水分を抜き自然な風合いに加工するドライフラワー、本物の植物の水分を特殊な液体と置き換えることで見映え、質感を

保ちながら長持ちできるよう加工されたプリザーブドフラワー。大地農園はこのどちらにおいても高い技術を持ち、かつ多くの花の種類を扱うという両面において世界に類を見ないメーカーです。

バラ、アジサイ、カスミソウなどの花は世界の栽培適地から仕入れ、丹波市の工場で加工した後、国内外に出荷されていきます。現在、新たに注力しているのがオフィスやホテルの壁面を飾るプリザーブドフラワー。「植物は人に安らぎをもたらす。その効果を実感してもらえるよう植物の持つ香りも含めて伝えていきたい」と社長の大地但氏は話します。

欧米に拠点、海外展開さらに

植物は生き物。かつ多くの作業は人間の手に頼るところが多い。「それだけに働く社員がいかに気持ちよく、やる気を持って働けるかが大事」と、多様な働き方を促す制度を設ける一方、人との関係性、問題解決能力、技術の3要素で目標を設けたうえで一人ひとりの社員を評価し、給与にも反映するようにしています。

折からのコロナ禍でSNSを活用した発信を強化したところ、国内外からの反響が増えていること。近くアメリカ、ヨーロッパそれぞれに物流拠点を整備し、世界展開をさら

に強化していこうとしています。



全社風景

企業データ

■設立(創業)/1981年
(創業1955年)
■資本金/5,000万円

■売上高/27億8,472万円(2021年5月期)
■従業員数/180名

■平均年齢/45.0歳

おーりす

オーリス(株)

丹波篠山市西岡屋681-1 ☎079-552-7772



公式サイト

クローゼットや手洗い・洗面カウンターをはじめとする住宅設備メーカー。2020年以降を「オーリス3.0」のステージと位置づけ、人に投資をしながら新たな事業機会を開拓していこうとしている。

🏆平成28年度 兵庫県環境にやさしい事業者賞

「人の幸せ」をテーマに提案



ce-fitショールーム

開閉時の指詰めを防止する折れ戸、簡単に部屋の模様替えができる可動間仕切り収納など多くの独自製品を開発してきました。大手ハ

ウスメーカー向けOEM（他社ブランド製品の製造）が主力事業ですが「厳しい要求に応える技術、設備を持ちながら、こちらからも提案することで、大手得意先様との関係を築いてきた」と社長の彦坂充宏氏。テーマは「人の幸せ」。例えば、家事動線を考え洗面脱衣室に収納場所を設けることで無駄な時間（歩数）を減らすことができる新たな暮らし方の提案も行っています。

環境への取り組みにも熱心で、他社では使った後に残った端材を再利用するところ、そもそも端材を出さないよう材料の使い方を設計するところから取り組むなど徹底した思考は他社の追隨を許しません。

一人ひとりの社員の成長を応援

20代半ばで課長に、30代で執行役員に昇進する社員も多く、若い時から責任と仕事が任されることも同社の特長です。コロナ禍を受け、デジタルツールを活用した社内コミュニケーションを導入し若手社員の意見を反映させやすい仕組みもつくっています。

2020年には人、組織に重点的に投資し、新規事業の育成に注力していくことを宣言。「働き始めてからもっと学生時代に勉強しておけばと思うものですが、当社は資格取得や勉強したいことがあれば応援もする。会社に

入ってからのほうがより勉強したい方向性が見え、追求できる。どんどんと成長してほしい」と話しています。



生産設備

企業データ

■設立（創業）／1990年
（創業1946年）
■資本金／8,000万円

■売上高／35億7,639万円（2020年3月期）
■従業員数／156名

■平均年齢／42.0歳



強大な電気エネルギーを放つ雷から電力インフラを守る避雷器を製造・販売する雷対策の専門メーカー。時代の変化をにらみながら、ニーズに沿った製品の開発も見据えている。

🏆平成28年度 ひょうごオンラインワン企業

雷から社会を守る専門メーカー



雷テクノロジーセンター外観

雷の発生数は気候変動に伴って年々増加傾向にあります。落雷後、雷の異常な電気は電源線や通信線などを伝わり、建物内にある電

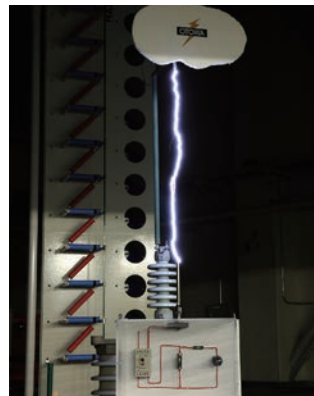
子機器類に影響を及ぼし、設備や装置などに誤作動や異常をきたす原因となります。同社はこうした雷から社会を守るための避雷器のメーカーとして国内トップクラスのシェアを誇ります。

「以前は主にインフラ設備向けが主なお客様でしたが、近年ではさまざまな設備が電子化され、雷によるリスクが大きい工場やデータセンターなど、産業民生分野でのニーズが大きくなってきている。電子化された設備では落雷リスクが増大しているとも言えます」と吉田厚常務。アフリカやアジアをはじめ海外市場も積極的に開拓し始めています。

若い力に委ねブランド力を向上

同社では近年、若い社員の活躍も目立っています。「経営層から若い社員まで皆が気さくで、風通しの良い会社です」。会社のホームページやツイッター、フェイスブックを活用した会社の情報発信についても若い社員を主体としたプロジェクトチームに委ね、「自由な発想で雷の専門メーカーである当社のブランド力の向上に貢献してくれています」と話します。「IoT化、リモートワークの増大などコロナ禍に伴い変化が進む中で社会を雷からどう守れるか柔軟に提案していかなければなりません。これからも若い人たちの発想を

楽しみにしています」と期待を込めて語ります。



高電圧試験設備の放電実験の様子

企業データ

■設立(創業)/1946年
■資本金/8,190万円

■売上高/116億1,600万円(2021年3月期)
[グループ連結]
■従業員数/271名

■平均年齢/45.0歳

かわにしこうくうきこうぎょう

川西航空機器工業(株)

川西市下加茂2丁目1番6号 ☎072-759-4145



公式サイト

航空機向け部品を製造して50年を超える。主体の防衛省向けに加え、近年は民間航空機向けを強化。広がる事業機会をとらえるべくチャレンジできる風土を育てようとしている。

安全を徹底し、航空・宇宙市場で信頼を築く



大企業に負けないスペックと企業風土で、地域の子どもの憧れとなれる企業をめざしています

航空機の製造に欠かせない、ねじを締め付けるためのワッシャー、部品同士のすき間を埋めるためのシム、配管を固定するためのク

ランプなど航空機に使われる規格品を五千種類ほど製造しています。

これらの部品は国内の機体メーカー、エンジンメーカー全てで採用されており、最終的に自衛隊や航空機メーカーの飛行機、船に使われています。

長年の実績で築き上げた信頼を強みに、国際宇宙ステーション日本実験研究棟「きぼう」の空調機材なども手がけてきました。最大の強みは、材料選定から製造、表面処理、非破壊検査、組立、品質保証までをすべて一貫して担っていること。「すべての工程において絶対安全の意識を徹底させています」と小寺久志社長。

ビジネスチャンス見据えチャレンジする風土醸成

近年特に力を入れて取り組んできたのが民間航空機分野です。COVID19の影響もあり、民間航空機分野の足元は厳しい状況にありますが、今後、成長が期待される分野です。「これまでの信頼の上に挑戦する風土を醸成させていきたい」との思いから、人材教育をシステム化するとともに、製造、技術、営業、品質保証など多様な部門をローテーションさせることで幅広い視野を身に付けてもらおうと考えています。「部品にとどまらず、いずれはシステムの装備品も任されるようチャレン

ジしていきたい」と先に広がるビジネスチャンスを見据えています。



航空機の品質を確保するため、日々綿密な検査をしています

企業データ

■設立(創業)/1967年
(創業1950年)
■資本金/6,000万円

■売上高/9億3,511万円(2021年5月期)
■従業員数/98名

■平均年齢/40.5歳



建設現場で使われる安全帯（命綱）や工具袋などを製造する基陽。入社3～5年目の若手社員が主体になってそれぞれの得意分野を寄せ合いながら新製品の開発に取り組んでいる。

- 🏆平成25年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 製品・部材部門賞
- 🏆成長期待企業
- 🏆平成27年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆平成29年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

入社3～5年目で商品開発



それぞれの得意分野を生かして新製品の開発に取り組む
安藤風子さん(左)と久米梨佳子さん

「職人の声に徹底的に寄り添う」ことを道具作りのモットーにしている同社。現場からの要望や不満に応えながら、安全帯や工具袋などを次々に送り出しています。大学で工業デザインを学んでいた安藤風子さんは「デザインで社会の課題を解決したい」と入社。2019年末に社長から、新商品開発をミッションとするデザイン部の主任をまかされました。現在、入社5年目の安藤さんが、入社4年目、3年目の女性社員を束ね、3人で新しい価値を提供できる安全帯の開発に取り組んでいます。現場の職人を訪ねて声を拾い、既存の商品を1日身に付けるなどして、商品開発のヒントを得ています。

それぞれの得意分野を生かす

安藤さんが大切にしているのは「それぞれの得意分野を生かすこと」と「自由に意見が出せる雰囲気をつくること」。メンバーの1人、入社3年目の久米梨佳さんは「自分が建築現場で働きたい」というほどの強い思い入れを持っており、自身が身に付けたいと思えるアイデアを活発に出しています。「何を言っても否定せず、受け入れてくれるのがうれしい」と久米さん。商品開発は大詰めの段階まで来ており「早く現場の人に使ってもらい、すごい製品を開発したねと喜ぶ姿をみ

たい」と久米さんは今から製品が出来上がるのを楽しみにしています。



落下事故から命を守る安全帯
(墜落制止用器具)

企業データ

■設立（創業）／1978年
■資本金／1,000万円

■売上高／14億円（2020年5月期）
■従業員数／39名

■平均年齢／40.5歳

きょくとうさんき

極東産機(株)

たつの市龍野町日飼190 ☎0791-62-1771



公式サイト

コンピュータ式畳製造システムや自動壁紙糊付機で培った技術を生かし、各種自動化・省力化機器へと事業を展開。近年ではリチウムイオン電池製造工程の一部の生産設備も受注・開発するなどユーザーニーズをくみ取り、オリジナル製品を創出し続けている。

🏆令和元年度 ひょうごオンリーワン企業
🏆令和2年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 製品・部材部門賞

特許出願数は700超



令和4年4月完成予定 神岡工場

1948年に畳製造機器メーカーとして創業。現在は畳事業のほか、全国シェア9割以上を占める自動壁紙糊付機を柱とするインテリア

事業、特殊機能畳商品などのコンシューマ事業、大手牛丼チェーンでも採用されている味噌汁ディスペンサーなどの食品機器事業、リチウムイオン電池製造工程の一部の生産設備などの産業機器事業まで幅広く展開しています。「常にユーザーのニーズに合わせ製品開発を続けてきた」と取締役総合企画室長の頃安憲司氏。700を超える特許出願数（2021年6月末時点）がそれを物語っています。

2018年9月には東証JASDAQスタンダード市場に上場。上場で得た資金の一部は神岡工場の製造能力増強、生産効率化に投資し、22年末には拡張工事が完成する予定です。

自分で考える習慣を徹底

入社5年目の田中彩加さんは採用業務などのほか月刊社内報の編集を担当しています。「入社時から、自分だったらどうするかを考えるように上司から教わってきた」と言います。社内報では自ら提案して若手社員をインタビューするコーナーも設けており「やりがいを感じる」と話します。

自ら考える習慣は新事業開発にも生かされています。各部門の社員によって結成されたプロジェクトチームから生まれたアイデアが21年4月に事業化されました。葬祭用特殊畳を製造している縁から遠隔で葬儀に参列で

き、花やメッセージも贈れるオンライン葬儀システムで、ものづくり以外のサービス業にも新たな一歩を踏み出したところです。



読売テレビBEAT～時代の鼓動～ 撮影の一場面

企業データ

■設立（創業）／1948年
■資本金／6億3,111万円

■売上高／80億636万円（2020年9月期）
■従業員数／294名

■平均年齢／42.7歳

くわむらせんい

桑村繊維(株)

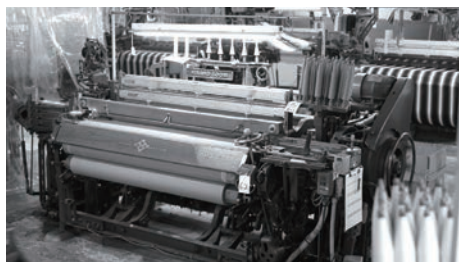
多可郡多可町中区曽我井315 ☎0795-32-1180



公式サイト

桑村繊維は、北播磨地域に集積する播州織業界の中で早くからオリジナルの織物を企画提案しており、近年は国内だけでなく海外市場の開拓にも注力している。

各部門で企画し、独自商品を提案



当社工場部シャトル織機

江戸時代から当地に根付く播州織の特徴は、糸を織り上げる前に染める先染めの製法によって織物が作られることで、織物に豊か

な色合いと風合いを与え、色落ちしにくいなどの利点を持っています。その播州織のリーディングカンパニーとして業界を牽引し続けているのが桑村繊維です。

同社の事業部門は素材や顧客ごとに10に分かれ、各部門に企画担当者、デザイナーを配置し、レディースやメンズのファッション衣料向けを主体に独自に開発した生地を顧客に提案しています。「入社3年目ほどで企画やデザインを任せており、各部門で競い合いながら開発できる環境がやりがいにつながっているようです」と総務部長の飛田幸伯さん。

女性活躍の場、さらに

国内の消費が頭打ちになっていることから近年注力しているのが輸出です。ニューヨーク、パリ、上海などの展示会に積極的に出展を続けており、「メイドインジャパンに対する品質への評価が高い」ことから現在は売り上げに占める輸出比率は15%にまで高まっています。

最近では各部門でインスタグラムを活用した商品の情報発信も始めており、新たな顧客開拓にもつながっているとのこと。「もっと女性社員に営業にも出てもらい生の声を商品開発に生かしてもらうなど、女性活躍の場も広げていきたい」と話し、時代に合わせた方

法で活路を開こうとしています。



当社東京営業所ショールームの展示会風景

企業データ

■設立(創業)/1950年

(創業1928年)

■資本金/2億1,000万円

■売上高/60億6,500万円(2020年9月期)

■従業員数/120名

■平均年齢/42.0歳

さわだせいみつ

サワダ精密(株)



公式サイト

姫路市広畑区吾妻町1丁目39番地 ☎079-239-2225

サワダ精密では会社を仕事だけでなく人間的な成長の場と位置づけ、若いうちからさまざまな活動への参画を促し、自ら考え、決断する機会を通じて人間力の養成を図っています。

🏆成長期待企業

🏆令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

当たり前のことを当たり前に行う



人財育成にとても力をいれています。
仕事も遊びも全力で！それがサワダ精密です。

姫路市内に展開する5つの工場に計70台近

一人の人間として成長する場に

新入社員の採用内定を決めた後に澤田社長がまず行うのが、内定社員宅の家庭を訪問し、採用を決めた理由や会社の考え方を親に伝えること。「結婚を申し込むような気持ちで身が引き締まる瞬間」と言います。同社では、5つの委員会活動のリーダーや社員旅行の企画などを若い社員に委ねることで「自ら考え、決めたことで小さい成功体験を重ね、それを仕事にも広げてもらえたら」と狙いを説明します。「社員として、そして一人の人間として会社が成長を促す場になれば」と思いを語る澤田社長。そうした取り組みが取引先

に工作機械を保有し、クルマのモーターを製造する設備の部品や発電所のタービンの部品など製造しています。「設計から施工、組み立てまで一貫して手掛けられるところがよそにはない強み」と澤田洋明社長。一方で「ものづくりの技術は機械に頼る部分が大きいため差別化を図るのは難しい。サワダ精密と仕事をしたいと思ってもらえるものがない」との思いから力を入れるのが人間力の養成です。社員全員のバッジには「出したら片づける」「感謝の気持ちを伝える」など社員一人ひとりが選んだ標語を掲げ「当たり前のことを当たり前に行うこと」を徹底しています。

からの信頼にもつながり事業の成長にもつながっています。



ただの“仕事”というくくりでは終わらせません！自分らしくいきいきと楽しく働ける場所

企業データ

■設立(創業)/1988年

■売上高/12億1,891万円(2020年10月期)

■平均年齢/35.1歳

■資本金/4,250万円

■従業員数/83名



スイコーは、1966年にオランダから回転成形による樹脂成形法を国内に初めて導入した。以来、幅広い産業向けの大型容器から玩具まで多彩なポリエチレン製品を製造している。

👑令和元年度 ひょうごオンリーワン企業
👑成長期待企業

回転成形品の社会との関わり



スイコー株式会社 本社

回転成形法は、粉末樹脂を金型に投入、それを回転させながら、加熱・冷却する手法で

す。金型の製造コストが抑えられるため一品様のオーダーに応えやすく、また継ぎ目なく一体的に成形品を作ることができます。それらの製品は、耐久性が高く、耐薬品性に優れています。

そのメリットを生かして、さまざまなポリエチレン用品を生産しています。最大の大きさでは、高さ7メートル、容量5万リットルを誇る大型容器を供給し、薬品貯槽や排水処理するためのタンクなどとして活用されています。また、災害発生時には生活水の運搬・貯水用として被災地で活用されている容器、さらには寸断された道路への道路防護柵も供給しています。

風通しの良い社風で“脱容器”も積極化

近年は容器だけに頼らず、幅広い用途向けに製品を開発しています。その一つが玩具。鉄製と比べて熱を持ちにくく、カラフルな色彩やデザイン性に優れるメリットを生かし生産量を増やしています。今後は、静電気が発生しにくい素材や透明なポリカーボネートなどの新たな素材も活用し提案の幅を広げていこうとしています。

上司との年4回の面談機会を作るなど風通しの良い社風が特長の同社。2020年11月に社長に就任した横山俊介さんは「会社を第二

の家族のように思ってもらいたい。子育てや介護など家庭のことも相談しやすい会社にしていきたい」と話します。創業59年を迎えた今、「100年企業に向けてより強靱(きょうじん)でしなやかな会社にしていきたい」と意気込んでいます。



子供たちの未来を育む玩具

企業データ

■設立(創業)/1963年
■資本金/4,800万円

■売上高/41億円(2021年8月期)
■従業員数/140名

■平均年齢/41.5歳

せいわこうぎょうしょ

(株)精和工業所

伊丹市北本町3丁目105番地 ☎072-782-0281



公式サイト

温水タンクやリチウムイオン電池ケースなどステンレス素材の溶接技術で強みを持つ精和工業所。働く人、地域の人が誇れる企業を目指して、自社商品の開発にも力を注いでいる。

薄いステンレスの溶接技術に強み

ステンレスの溶接風景

厚さ1mm以下の薄いステンレスをつなぎ合わせる溶接加工技術を得意とし、給湯器の温

水タンクやコンビニエンスストアのコーヒーマシン向け熱湯タンク、リチウムイオン電池ケースなどを製造しています。できあがった製品は温度、圧力、水質やその変化に耐えられる性能や精度が求められるため、溶接時の電流量、酸素遮断、専用器具開発など、ノウハウを組み合わせながら最適な条件で加工を行っています。

顧客からの厳しい要求に応えるべく独自の検定試験による資格制度を設けているのも特長の一つ。製造現場で働く女性パート従業員が溶接加工に興味を持って資格取得に挑み、正社員に登用された事例もあるそうです。

消毒液ディスペンサーなど自社製品も強化

「地域の人に誇りに思ってもらえる会社になることが目標」と話す原克彦社長。そこで現在力を入れているのが自社ブランド商品の開発です。すでに地域の酒造会社の要望に合わせて開発したホットビールサーバーを商品化。コロナ禍に合わせて2020年に商品化した、消毒液ディスペンサーは、来客の多い施設でも円滑に対応できるよう大容量で瞬時に噴射できる構造とし、地元の伊丹市などへ寄贈。現在、多くの病院や大学などで採用が進んでいます。「ここで働いていてよかったと思える会社を目指し、社員が一体感を持って

働ける風土をつくって
いきたい」と話して
います。



自社商品
大容量消毒液ディスペンサー

企業データ

■設立（創業）／1962年
■資本金／2,400万円

■売上高／38億円（2020年9月期）
■従業員数／234名

■平均年齢／43.0歳



高丸工業は、ものづくりの現場の作業に合わせ産業用ロボットを組み上げるロボットシステムインテグレーターとして、労働力不足や後継者不足に悩む中小企業へのロボット導入を後押ししている。

- 🏆 平成25年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 選考委員会特別賞
- 🏆 ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2012 兵庫県知事賞
- 🏆 成長期待企業
- 🏆 兵庫県立地支援企業

中小企業のロボット導入を支援



広い工場には国内主要7メーカーの産業用ロボットを常設

産業用ロボットとは、人間でいう肩から手首までの動きを自動化したアームロボットを指します。ロボットシステムインテグ

ターは、現場で求められる作業に合わせアームロボットの手に当たる部品やその動きを制御するプログラムを開発し、最終製品に仕上げる役割を果たします。社長の高丸正さんはこれを「ロボットに命を吹き込む仕事」と言います。

同社はロボットシステムインテグレーターとして40年以上の歴史を誇り、開発だけでなく導入前テスト、コンサルティングまでを担うことでロボット導入を支援しています。「労働力不足や技能承継、少量多品種生産など中小企業ならではのニーズも踏まえサポートできることが強み」と高丸さんは言います。

高校生向けの見学会も開催

それぞれの中小企業で産業用ロボットを扱うには労働安全衛生規則に基づく資格が必要で、同社ではその資格取得ができる特別教育講習の場も設けています。昨年は約1,100人の受講者を受け入れました。

また、これからのものづくりを担う若い人材にロボットへの興味を持ってもらおうと、同社では高校生向けのロボットセミナーや見学会を行っています。「パソコンやスマホの扱いに慣れた高校生は理解も早く、現場を見てかっこいいと言ってくれます」。

こうした中小企業のロボット導入の取組

みは「日本を世界一のものづくり大国に」という思いに支えられています。



ロボットティーチング作業の様子

企業データ

■設立(創業)/1967年
■資本金/8,500万円

■売上高/9億656万円(2020年8月期)
■従業員数/26名

■平均年齢/40.4歳

なかたこうげい

中田工芸(株)

豊岡市日高町江原92 ☎0796-42-1131



公式サイト

高級ハンガーの代名詞としてギフト市場を強化している「NAKATA HANGER」。また、中田修平社長自身、育児休業を取得するなど働きやすい環境づくりも大切にしている。

🏆ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2019 兵庫県知事賞
🏆成長期待企業

ストーリーを大切にギフト市場狙う



ハンガーの可能性を追求し、その魅力を全国・海外に届けています

ハンガーづくりの工程は、ブナなどの木をカットするところから、複数の番手のサンドペーパーで磨き、塗装に至るまでの大半を手作業に頼っています。

戦後間もない1946年に木製ハンガー

メーカーとして創業して以来、アパレルや百貨店などBtoB向けで成長してきましたが、2007年に東京・青山にショールーム「NAKATA HANGER」を開設して以来、こだわりのハンガーをBtoC向けにも発信しています。「いいものを造れば売れるというわけではない」と社長の中田修平氏。ギフト用でかつ「ストーリーが語れること」を主眼に置き、市場をつくってきました。その一つが「ブライダル」の引き出物向けで「福を掛ける」のコピーが評判を呼んでいます。もう一つが「人生とともに歩むハンガー」として「卒業記念」向けで売り上げを伸ばしています。

社長自ら育児休業を取得し、働きやすさ追求

海外市場の開拓にも挑んでいます。3年前、香港のテラーで行った展示即売が好評で、現在はシンガポールやアメリカなどのほか、テラーの本場イギリスの市場開拓も進めているところ です。

日本らしい丁寧なもののづくりで世界に挑む姿勢にひかれ志望する学生も増えているとのこと。

そこで長く働いてもらえるよう、19年7月には中田社長自身、第2子の誕生を機に1カ月の育児休業を取得しました。「僕のあとに

男性社員の育休取得者が続いてくれれば」と考えています。



年齢や性別に関係なくチャンスがあり、皆が協力し合う社風です

企業データ

■設立(創業)/1946年
■資本金/3,000万円

■売上高/6億8,500万円(2021年4月期)
■従業員数/64名

■平均年齢/40.0歳



開湯1300年を誇る城崎温泉で純日本旅館の西村屋本館と西村屋ホテル招月庭を運営する西村屋。「地域と旅館は一蓮托生^{いちれんたくせい}」という思いのもと観光で地域を盛り上げようとしている。

成長産業の一翼として地域に貢献する



歴史と風格を感じさせる西村屋本館の玄関

まち全体が一つの旅館としておもてなしするという共存共栄の精神が浸透している城崎

温泉にあって160年旅館・ホテル業を営んできました。城崎温泉を擁する豊岡市も人口減少が大きな課題となっている中、「日本における数少ない成長産業の一つである観光産業の一翼として、地域の人口減少の歯止めにも貢献できれば」と西村総一郎社長は語ります。2011年の社長就任以来、力を注いできたのが訪日外国人旅行客の獲得。パりに情報発信拠点を設立したほか、海外で開かれる旅行博にも積極的に参加しています。また、インバウンドに対する

おもてなしを強化すべく、阪神間にも積極的に足を運んで採用に力を入れてきました。

地元に定着してもらうための投資を欠かさず

同社のサービスの特長の一つが客室で食事をしてもらう「お部屋食」。手間をかけたサービスを維持していくため、ITを活用しそれぞれの社員の休みの希望と宿泊者の予約情報とを照らし合わせて自動的にシフトを作成するシステムを導入し、働きやすい環境を整えています。また、独身寮のほか、結婚後も働けるよう家族用社宅の整備にも力を入れています。「私が引き継いだときよりもいい状態で会社も地域も次世代に渡したい。それが私の

使命だと思っています」。7代目当主として、城崎温泉の持つDNAを受け継ぎながらさらなる発展を期しています。



温泉街風景

企業データ

■設立(創業)/1951年
■資本金/2,000万円

■売上高/27億1,000万円(2021年8月期)
■従業員数/307名

■平均年齢/35.8歳

のーりつ

(株)ノーリツ

神戸市中央区江戸町93番 ☎078-391-3361



公式サイト

「新しい幸せを、わかつこと。」をビジョンに掲げ、給湯器のリーディングメーカーとして日本のお風呂文化を支えてきたノーリツには「人を大事にする文化」が根付いています。

くるみん認定企業

常に新製品を他社に先駆けて開発



明石本社工場敷地内には工場だけでなく開発の施設もあります

ガス・石油給湯機器とガスコンロの製造を主力事業として展開し、日常生活に欠かせないお風呂と厨房を縁の下で支えるノーリツ。

失敗をしても、挑戦をたたえる

同社を支えるのが「たとえ失敗をしたとしても次どうするかを大事にする社風」と人事企画グループの藤田純子さんは言います。リーダー職を目指す若手社員向けには広い視野を養うため社外人材と交わる研修等の学習機会を設けています。「長く、安心して働き続けられるように」とテレワークの推進やコアタイムのないフレックスタイム制の導入、明石本社工場における社内保育園整備、健康経営の推進など「人を大事にする文化」も根付く同社。「常識にとらわれず未来を切り開

お湯張り完了時に流れるメロディーと「お風呂が沸きました」のなじみの音声にピンとくればそれは「ノーリツ製」です。

創業来常に利便性、安全性、省エネを追求した商品を先駆けて開発し、「新製品のノーリツ」として高い評価を得ており、近年も浴室事故を防ぐ「見まもり機能」、衛生意識の高まりから「UV除菌機能搭載」の給湯器などが加わっています。国内向けには環境問題の観点から低炭素・脱炭素社会に向けた商品開発に注力し、海外向けについてはすでに展開している中国、米国、豪州に加え成長市場である東南アジア向けを強化しつつあります。

くことのできる人を」と藤田さんは求める人物像を語っています。



給湯器の生産ライン

企業データ

■設立（創業）／1951年

■売上高／1,838億5,900万円（2020年12月期）

■平均年齢／42.7歳

■資本金／201億6,700万円

■従業員数／2,225名



2019年でん粉ひと筋、創業100年を迎えた。「従業員は家族」「何事も果敢にチャレンジ」のびのびした風土のもと、でん粉の可能性を広げ続けている。

でん粉の新たな可能性を引き出す



2021新入社員

「でん粉」や「加工でん粉」は、「もちもち」「サクサク」とした食感や、「つや出し」＝「保性」などの品質向上に欠かせず、パンや即席めん、レトルト食品、お菓子、飲料など多くの食品に含まれています。創業時はでん粉卸としてスタート。洗濯糊など工業用でん粉メーカー

に転じ、高度成長期の頃から食品用でん粉へとシフトしました。現在は天然のでん粉を原料にした食物繊維で、おなかの調子を整えたり食後の血糖値の上昇を穏やかにする難消化性デキストリンが多くの特定保健用食品や機能性表示食品に採用されるなど、健康をキーワードに新たなでん粉利用価値を提案し、売り上げを増やしています。また、15年以上にわたり香川大学と共同で「希少糖」の研究開発を行い、国内外から注目されています。でん粉の価値創出に挑み続ける同社の原動力は「こんなことに挑戦してみたいというテーマがあればそれを否定することなく、尊重してやらせてみる風土」と人事部次長の寺園裕之さんは言います。

「従業員は家族」という言葉が浸透

「従業員は家族」という言葉が浸透しているのも同社ならではの。「働き方改革」という言葉が浸透するずっと前から定時退社が習慣化、有給休暇も当たり前のように取得しているとのこと。社内は野球、フットサルなどのサークルのほか、部署を超えて自主的にゴルフやテニスを楽しむ従業員が多く、そうした交流の中から何でも言いやすい風土が育ち、ひいては挑戦できる土壌が育まれているようです。



100周年記念旅行（2019秋・北海道）

企業データ

■設立（創業）／1919年
■資本金／1億円

■売上高／526億5,600万円（2020年11月期）
■従業員数／480名

■平均年齢／42.0歳

もりた

(株)モリタ

三田市テクノパーク1番地の5 ☎079-568-7800



公式サイト

シェア55%以上を誇る消防車両のトップメーカー。
消火、救助の機能を持つ車両だけでなく消防隊員の
安全管理システムなども加えた総合防災ソリューション企業として進化を続けている。

グループ総力で消防ソリューションを提案



1台ごとに異なる仕様に応じて消防車が生産されている

1907年に創業し、日本で初めてガソリンエンジン付き消防ポンプを開発して以来、消防車のトップメーカーとして日本の消防技術発展に寄与してきました。近年は主力のはしご車に加え、ブームを使った消防車もラインアップ。また、水に消火薬剤を加え発泡させることで少量の水で高い消火性能を発揮する消防ポンプ車や、空気中の窒素濃度を上げることで、一切水を使用せずに消火する消防車なども開発。IoT を活用した画像情報による消火活動のサポートシステムなどと組み合わせ、グループ全体で消防のソリューションを提案しています。

2年ごとの全員研修で養われる同期の絆

2016年にはダイバーシティ推進室を設置し、新卒採用のうち40%を女性、10%を海外出身者にする目標を掲げ、イノベーションを生み出す基盤づくりを進めています。入社後は全体での研修後、配属先で新入社員1名につき1名メンターが任命されて、新入社員の成長をサポートします。また、入社4年目までの期間は、2年ごとに全員研修を開催し、自身の成長を同期の仲間とともに振り返ります。「各年次のグループ社員全員を集めた研修を頻繁に行っており、同期の絆が強いのが特長」と人財開発課課長の東尾薫さん。一体

感を醸成する人財教育で新商品、新市場開発への挑戦を促しています。



新入社員フォローアップ研修

企業データ

■設立(創業)/1907年
■資本金/10億円

■売上高/非公開
■従業員数/386名

■平均年齢/39.5歳



神戸を代表する観光地、六甲山で数多くの施設を展開する六甲山観光。2021年には2つの大型施設がリニューアルオープンし、六甲山のさらなるにぎわいづくりに向けた仕掛けを積極化している。

日本最大級のアスレチック施設が誕生



六甲山からの眺望

「都心部から近い場所で豊かな自然、さまざまなレジャー、眺望を楽しむことができる稀有な観光地」と六甲山の魅力を語る宮西幸治社長。商業施設「六甲ガーデンテラス」、

冬はスキー、夏は日本最大級のアスレチックが楽しめる「六甲山アスレチックパーク GREENIA」のほか「ROKKO森の音ミュージアム」「六甲高山植物園」「六甲ケーブル」などの運営を行っています。

2021年には「六甲山カンツリーハウス」と「六甲山フィールド・アスレチック」とが一体化し、日本最大級のアスレチック施設「六甲山アスレチックパーク GREENIA」としてオープンし、ROKKO森の音ミュージアムもリニューアルオープンいたしました。「こうした強力なコンテンツに加え、施設を周知するための情報発信に力を入れ、集客につなげていきたい」と力強く語ります。

外部にゆだねず企画、運営まで担う

六甲山の景観を生かした現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート 芸術散歩」は昨年で12回目を迎え、これまで六甲山に足を運ぶことのなかった若い女性などを呼び込んでいます。こうしたイベントやPR についても社員たちで企画、運営を担っている点も同社の特長です。恵まれた環境の中で音楽、植栽、アートなど自分の好きなことに関われることから新卒者の人気も高いとのこと。「六甲山を世界でも知られた観光地にすること」をミッションに「社員自身がワクワクしながら

新しいことに挑戦してほしい」と宮西社長は若い社員の力に期待しています。



六甲ケーブル

企業データ

■設立(創業)/1923年
■資本金/8,097万円

■売上高/14億6,307万円(2020年3月期)
■従業員数/218名

■平均年齢/39.8歳